

# 文部科学省 採択事業について

地域の介護福祉DXを推進できる人材育成プラットフォームの構築  
(生体計測・ロボット・VR/ARの導入と高度活用)

1. 今回採択の事業
2. 介護福祉DXが必要となる背景
3. 連携体制
4. 本事業における取組
5. 現時点での取組状況

東日本国際大学

地域の介護福祉DXを推進できる人材育成プラットフォームの構築  
(生体計測・ロボット・VR/ARの導入と高度活用)

介護福祉 × DX(デジタルトランスフォーメーション)

文部科学省「デジタルと専門分野の掛け合わせによる  
産業DXをけん引する高度専門人材育成事業」

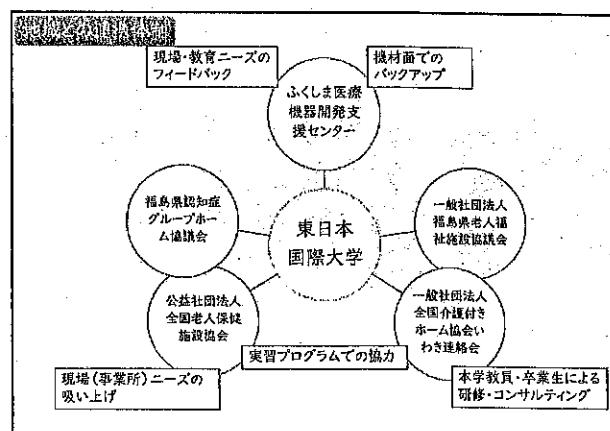
デジタル社会への環境変化に対応した資質・能力を涵養するため、DX教育設備を活用した教育カリキュラム開発や実験・実習の高度化など、「デジタル×専門分野」の教育を進め、我が国の産業等のデジタル化・高付加価値化をけん引する高度専門人材育成を加速することを目的とします。  
文部科学省 公募要領 p.1「目的」

公募期間	令和3年12月24日～令和4年1月26日
結果公表	令和4年3月11日
採択／応募数	39／99 (私立大学(短大)校含む)は 12／34)
事業補助期間	令和4年度

最新のテクノロジーを利用した介護福祉プロセスの再構築

現場でDXを進められる  
卒業生の送り出し

+ 現場のDXを可能とするための  
コンサルティング体制



今後欠かせないロボット技術(センサー系、駆動系、知能制御系)を実際に使った研修

それらをベースとした介護DX導入のOPBL教材開発

さまざまな状況下での適切な振舞いや介護ロボットの利用法を身に付けるための教材開発、現場でのDX推進のための教材

次世代介護福祉士育成プログラム

(A)伝統的に経験を通じてIT的な側面が強かった介護の現場における身体の使い方について、最新の生体指標測定技術(アトラッキング+筋電図測定+モーションキャプチャ)を利用して、そのプロセスのDXを行う。

(B)また実際のロボット(センサー系、駆動系、知能制御系)を利用する／導入する教育プログラムを、VR/AR化することで、今後すべての介護関連施設が介護のDXを行っていかなければいけない状況に備えられるような連携体制を構築する。

